

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 23 日

評価対象事業			評価者	青少年課長		瀬谷 公重	
こども-27 青少年会館管理運営事業			☒ 自治事務	主管課	青少年課		
			☐ 法定受託事務	関連課			
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援			

1 事業の目的

対象	青少年
意図	交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。
効果	青少年の健全育成に寄与する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

- ・様々な年齢層の青少年を対象に、各種の講座を開催した。
- ・鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳) ・事業の対象者 0歳～29歳
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数	42,655人	42,280人	事業の対象者数	42,064人	
決算値(千円)	33,014	34,162	当初予算(千円)	36,730	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他	1,929	2,185	その他	1,929	
一般財源	31,085	31,977	一般財源	34,801	
人員配置数	2.1	2.1	人員配置数	2.1	
人件費(千円)	16,711	17,172	人件費(千円)	17,242	
総事業費(千円)	49,725	51,334	総事業費(千円)	36,730	
市民1人当りの経費(円)	280	290	市民1人当りの経費(円)	208	
対象者1人当りの経費(円)	1,166	1,214	対象者1人当りの経費(円)	873	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・平成28年度に改訂した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標の一つである「青少年の居場所づくり」として、既存の青少年会館の講座内容や利用方法を工夫して運営を図っていく。 ・青少年会館の自主講座やイベントに支援を必要とする青少年が参加しやすいように見直しや工夫を図る。 ・見直しにあたっては、特に経費を必要とするものではないことから、予算規模は現状維持とした。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・青少年にとって自分の居場所を見出すことは、健全な育成のために必要であり、これからも青少年を対象とした各種の取組みを継続していく。 ・平成28年度に改訂した「鎌倉市子ども・若者育成プラン」の重点目標である「青少年の居場所づくり」の一つとして、自己肯定感の持てる居場所づくりを見出すことは健全な育成のために必要であり、平成28年度以降は、自立困難な若者に対しての取組みにも努めていく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	青少年の利用者を増やす事業の展開を図り、青少年会館が青少年の居場所の一つとなるよう努める。		
課題解決のために行った平成27年度の実績	平成24年度から実施している鎌倉青少年会館フェスティバルでは、青少年の健全育成を目的として活動しているNPO法人「鎌倉てらこや」、「鎌倉市青少年協会」、「鎌倉市青少年指導員連絡協議会」の3団体が一同に会して参加した。玉縄青少年会館においては、地域との交流やふれあいを図り、広く地域の方々に周知を図るため、「玉縄青少年会館ミニフェスティバル」を開催した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	これまでも、青少年会館が青少年にとって居場所の一つとなるよう事業に取り組んでいるが、更に青少年の利用者を増やす取り組みを図る必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	青少年会館の利用者数の増加					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
青少年の利用者(利用率)数を増やすため。	目標値	52,200	52,300	52,400	52,500	52,600		52,700		
	実績値	52,845	55,041							
	達成率	101.2%	105.2%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・青少年会館の利用者数の増加を目標とし、平成31年度までに52,700人を目標としたが、平成27年度の利用者数が55,041人と目標を超えた。理由としては、鎌倉体育館の修繕に伴う閉鎖により、鎌倉青少年会館への団体登録が増え、団体利用者が増加したことや小学生を対象とした、自主講座の回数を増やしたこと。人気のある新しい講座を開催したことが主な原因とされる。玉縄青少年会館の登録団体については、例年同様の自然増であった。これらのことを考えると、平成28年度以降、平成27年度のような利用者増は考えにくいことから、平成28年度以降の目標値を変更せず、様子を見ることとする。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---